

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	公共下水道事業(建設事業)		基本目標	公共下水道の整備と水洗化率の向上		
担当課(局)・係	上下水道課	下水道係	記入者	芥田 賢治	評価者	森 俊彦
					開始年度	S56 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 町民 意図・目的 快適な生活環境の創造と水質保全を目的として汚水処理を行うための下水道管及び処理場等の建設を行う						
事業の内容	平成8年3月から一部供用を開始し、現在233haの事業認可区域を平成27年度までの事業期間で実施中 平成22年度まで処理区域面積197.8haを整備済。普及率31.6% 水洗化率71.2%となっている。						
22年度決算額		134,737千円	23年度予算額		147,135千円	事業従事者数	
主な支出項目	国庫支出金	41,001千円	財源内訳	国庫支出金	41,000千円	22年度人件費	7,124千円
	県支出金	1,071千円		県支出金	1,000千円	23年度人件費	7,066千円
	地方債	73,700千円		地方債	69,300千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	
	一般財源	18,965千円		一般財源	34,534千円	23.5 %	
				還付金収入	1,301千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名				
	補助交付団体		補助金要綱				
	22年度	補助額	#N/A 円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円 終期 年度
		団体の決算額	#N/A 円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
		補助の割合	#N/A %				
繰越額		#N/A 円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 水洗化率の向上	未接続世帯に戸別訪問を行い水洗化率の向上を図る。
	2 放流河川の水質改善(BOD)	接続世帯の増加により地区内排水及び宮田川の水質が向上している。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 発注時期の平準化	工事の発注時期が偏ることのないよう上半期65%の発注を行う。
	2 普及率	事業認可区域の配管工事を進めることによって下水道への接続可能世帯が増加する。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	水洗化率の向上	目標値	70.0	75.0	75.0
		実績値	69.7	71.2	
		達成率	99.6%	94.9%	
	放流河川の水質改善(BOD)	目標値	2.0以下	2.0以下	2.0以下
		実績値	1.6	1.6	
		達成率	100.0%	100.0%	
活動指標	発注時期の平準化	目標値	80	65.0	65.0
		実績値	47	56.0	
		達成率	58.8%	86.2%	
	普及率	目標値	29.9	30.8	30.8
		実績値	29.4	31.6	
		達成率	98.3%	102.6%	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!		

事務事業名	公共下水道事業(建設事業)	担当課(局)	上下水道課
-------	---------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) 国庫補助を受けて事業を実施している自治体がほとんどであり、公共下水道は住宅等の密集している市街地等で事業効果を発するので、隣接市町と市街地が繋がっていない当町においては現行の事業手法が適当だと考えます。事業廃止については、認可区域は整備が必要だが、区域の拡充については今後の検討が必要である。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	1	-
有効性 平成8年に供用開始後、市街地の排水の悪臭や処理水の放流先河川の水質は確実に改善されており、十分な成果が得られている。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性 可能な限り工事発注の平準化やコスト削減に努めており、今後も情報収集に努めたい。また、認可区域の拡充については、処理場の拡充も伴い莫大な投資が必要となるため検討が必要。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性 町施工の公共下水道事業である。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)		13	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益平性) ()	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	今後の方向性			
		拡充	現状維持	縮小	廃止
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	公共下水道事業については、事業の継続性が必要だが、厳しい財政事情から進捗度合いについては検討を要する。現在の認可区域については、事業期間の延長を行ったが、その後の計画区域については、今後協議を進めていく必要がある。		○		
		コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎現在の認可区域が完了したら、休止(停止)するべきである。 ◎事業完了予定の平成27年度以降についての整備計画を早急に策定すべきである。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	